1. 技術体系の特徴

経営類型	家族 労働力	品目・栽培型及び規模	Į	経営・技術の特徴
びわ+ かんきつ ハウス40a 露地160a (動噴防除 体系)	2.5	ハウスびわ一般出荷型 ハウスびわ「はるたより」 簡易ハウスびわ「なつたより」 露地びわ「なつたより」 露地びわ 早生温州動噴防除 不知火動噴防除 合計 経営耕地面積 樹園地 200a	a 20 10 10 30 30 60 40 200	1.ハウスびわと露地びわに、露地かんきつを組み合わせた果樹専業経営 2.ハウスびわの品種は「長崎早生」、「はるたより」、簡易ハウスは「なつたより」、露地栽培は「なつたより」と「茂木」が主体 4.みかんは堆肥ペレット入配合肥料、中晩柑は一発肥料を使用
経営目標	1 農業総 2 農業経 3 農業所	営費 21,360 千円 5		12,045 円 舒間 1,935 時間

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所 割	有合	取得価格	耐 年	用 数	年 間償却額
						千円			千円
	加温ハウス(連棟標準型AP)	3	M6.0 × 4R × 42.5m		1	29,070		14	1,038
7.44	簡易ハウス	1	$M6.0 \times 4R \times 42.5m$		1	5,279		14	189
建物	作業収納舎66㎡	1	軽量鉄骨		1	6,238		24	260
170	貯蔵庫33㎡	1	コンクリートブロック		1	3,119		24	130
施	園内道	10	1.0m幅、部分的に舗装		1	1,305		15	44
設	重油タンク	3	1.9kL		1	1,436		7	103
100	防油堤	3			1	1,034		25	41
	計					47,480			1,804
	トラック(普通)	1	2t積み		1	3,500		5	350
	トラック(軽)	1	0.35t積み、4WD		1	1,500		4	188
	小型運搬車	1	3kw、リフトダンプ付き		1	311		4	39
	動噴	1	22L/min		1	154		7	11
	刈払い機	3	排気量20.6cc		1	102		7	7
	選果機	1	ドラム式		1	349		7	25
	びわ選別機		重量式		1	100		7	7
	せん定枝粉砕機	1	6.3kw、1.7m³/h		1	602		7	43
具	換気扇	3			1	1,868		7	133
	循環扇	3			1	882		7	63
	暖房機	3	75,000kcal(30タイプ)多段サーモ含む		1	4,902		7	350
	計					14,271			1,216

								(10a当たり人、時間)
	栽培	技術		作業体	本系			
作業の 種類	技術 内容	作業 時間	使用 機械 器具	組み 作業 人員	作業	延べ 作業 時間	使用資材	技術の重要事項
間伐せん定	間伐 整枝 せん定 枝誘引	5月	トラック	1	30	30		・ 盃状形または、二段盃状形の低樹高仕立てとする。 ・ 密植園では縮間伐を行い、独立樹とする。 ・ 立ち枝はできるだけ誘引し、低樹高化と空間の有効利用を図る。
土壌改良	堆肥、 土壌改 良資材 施用	7/上	小型運 搬車 トラック	2	5.5	11	堆肥 2t 苦土入りカキ ガラ石灰 100kg	・石灰質資材は土壌pH5.5~6.5を目標に施用する。 ・2~3年に1回を目標に樹間を部分的に軽く中耕する。
草生管理	草刈り	3月 4月 9月	刈払機	1	6	6	わら 1ロール	・除草剤の使用は夏草雑草発生期にとどめ、雑草草生による地力向上に努める。 ・使用薬剤、使用方法は県雑草防除基準 による。
	除草剤 散布	7月	動噴	2	2	4	除草剤	5 - 50
施肥	基肥 追肥 礼肥	8/下 10/中 4/下	小型運搬車	1	6	6	配合肥料 (N:10%)240kg	 ・施肥量は、土壌の種類、樹勢、収量等によって調整する。 ・施肥後、かん水する。 ・年間の窒素施肥割合基肥 40% 追肥 20% 礼肥 40%
防除	薬剤散布	1~12 月	動噴	2	15.5	31	1回の散布量 300~500L	・無被覆期間中の防除を徹底し、病害虫の密度を低くする。 ・ハウス内では薬害が発生しやすいので、 薬剤の選択、散布時の条件などに十分注 意する。農薬の安全使用基準を厳守する。
摘房	摘房	10/上 ~ 10/下		2	15	30		・着房率60%とする。 ・花房進度4~5の頃に、強摘らいを実施す る。
摘らい	摘らい	10/下 ~ 11/上		2	15	30		
摘果	摘果	1/上		2	60	120	果実袋 10,000枚	・摘果は果実径1.0~1.5cm程度で実施する。 ・種子数の少ない奇形果、傷果を除去し、肥 大が早く健全で揃った果実を、果房当たり3 果残す。
袋かけ	袋かけ	~ 2/上		. Z	00	120		・袋かけ前に必ず炭そ病、灰斑病対策の薬剤散布を行う。 ・障害果防止のため樹冠上部は遮光率の高い袋を使用する。特に、紫斑症が発生しやすい品種は内黒袋を用いる。

	1		1					(10a当たり人、時間)
	栽培	技術		作業体	本系			
作業の 種類	技術 内容	作業 時間	使用 機械 器具	組み 作業 人員	作業	延べ 作業 時間	使用資材	技術の重要事項
収穫出荷	収穫 選別 箱詰め 出荷	3/下 ~ 4/下	トラック 運搬車 重量選 別機	2	88	176	収穫用かご コンテナ 出荷用箱	・早採りに注意し、適熟に達したものから粒採りで収穫する。その後房採りとする。 ・果実が傷まないよう、毛じが落ちないよう、 取り扱いには細心の注意を払う。
新梢管理	芽かき誘引	5/中 ~ 7/下 9/上 ~ 9/中	-	1	35	35		・芽かきは、新梢の長さが10cmの時にがんしゅ病予防のためハサミで除去する。 ・基本的に中心枝、果こん枝のみとし、副梢は除去する。 ・こまめに新梢誘引を行い、花芽分化を促す。
	新梢誘 引	6~ 7月						
	外フィルム被覆	11/上		6	8	48	外フィルム (0.1mm): 7.0×45m 4本 サイト・フィルム	・開花直前の時期(10月下旬~11月上旬) からハウス天井部のみを被覆して降雨を回避し、腐敗果の発生を軽減する。 ・開花期に天井部を被覆した場合に、ハウ
	内カーテン被覆	11/中		2	8	16	(0.1mm): 2.7×42m 4本 内カーテン (0.075mm): 7.0×42m 8本 3年使用 保温資材 2×108m	ス側面を開放しても高温により結果率の低下が懸念される園地では、谷、妻面の開放など降温対策を併せて実施する。 ・天井ビニールは7月まで被覆し、園内土壌の
フィルム 等被覆 管理	内カーテン除去	4/上		2	3	6		
	外フィルム 巻上げ	7/中		2	5	10	寒冷紗 1.8×108m 5年間使用	
	寒冷紗 被覆•除 去	8/上 9/中		2	5	10		
温度管理	保温 加温 換気	11/中 ~ 4/下	暖房気 が 換置	1	42	42	A重油3.2kl	・目標出荷時期に合わせた温度管理を行う。 夜温 昼温℃ 加温~2/下 10℃ 20℃ 3/上~3/下 12℃ 22℃ 4/上以降 14℃ 23℃ ・特に、収穫前の日中の高温に注意する。 ・保温性のある資材の多重被覆により重油 使用量を削減し低コスト化を図る。

								(108日だり八、时间)
	栽培	技術		作業係	本系			
作業の 種類	技術内容	作業 時間	使用 機械 器具		実 作業 時間	延べ 作業 時間	使用資材	技術の重要事項
水管理	かん水	被覆期間中	かん水施設	1	18	18		被覆前後:十分に潅水する 被覆~1/中(開花~結実期) :5~7日間隔で5t程度 1/下~3/上(果実肥大期) :5~7日間隔で10~15t 3/中~4/下(成熟期~収穫期) :3~5日間隔で5~7t 収穫後 :十分に潅水する 5~7月(花芽分化促進) :10日間隔で10~20t ・特に生育期間中を通じての過湿、過乾燥 に注意する。
その他	作業道 排水溝 防風垣 風対策 他	1~ 12月		1	16	16		・圃場排水に努める。
計						615		

								(10a当たり人、時間)
	栽培	技術		作業体	本系			
作業の 種類	技術 内容	作業 時間	使用 機械 器具	組み 作業 人員	作業	延べ 作業 時間	使用資材	技術の重要事項
間伐せん定	間伐 整枝 せん定 枝誘引	5月	トラック	1	30	30		・盃状形または、二段盃状形の低樹高仕立てとする。・密植園では縮間伐を行い、独立樹とする。・立ち枝はできるだけ誘引し、低樹高化と空間の有効利用を図る。
土壌改良	堆肥、 土壌改 良資材 施用	7/上	小型運 搬車 トラック	2	5.5	11	堆肥 2t 苦土入りカキ ガラ石灰 100kg	・石灰質資材は土壌pH5.5~6.5を目標に施用する。 ・2~3年に1回を目標に樹間を部分的に軽く中耕する。
草生管理	草刈り	3月 4月 9月	刈払機	1	6	6		・除草剤の使用は夏草雑草発生期にとどめ、雑草草生による地力向上に努める。 ・使用薬剤、使用方法は県雑草防除基準 による。
	除草剤 散布	7月	動噴	2	2	4	除草剤	
施肥	基肥 追肥 礼肥	8/下 10/中 4/下	小型運搬車	1	6	6	配合肥料 (N:10%)240kg	 ・施肥量は、土壌の種類、樹勢、収量等によって調整する。 ・施肥後、かん水する。 ・年間の窒素施肥割合基肥 40% 追肥 20% 礼肥 40%
防除	薬剤散布	1~12 月	動噴	2	15.5	31	1回の散布量 300~500L	・無被覆期間中の防除を徹底し、病害虫の密度を低くする。 ・ハウス内では薬害が発生しやすいので、 薬剤の選択、散布時の条件などに十分注 意する。農薬の安全使用基準を厳守する。
摘房	摘房	10/上 ~ 10/下		2	15	30		・着房率60%とする。・花房進度4~5の頃に、強摘らいを実施する。
摘らい	摘らい	10/下 ~ 11/上		۷	13	30		
摘果	摘果	1/上		2	60	120	果実袋 10,000枚	・摘果は果実径1.0~1.5cm程度で実施する。 ・種子数の少ない奇形果、傷果を除去し、肥 大が早く健全で揃った果実を、果房当たり3 果残す。
袋かけ	袋かけ	2/上		2	60	120		・袋かけ前に必ず炭そ病、灰斑病対策の薬剤散布を行う。

	1							(10a当たり人、時間)
	栽培	技術		作業体	本系			
作業の 種類	技術 内容	作業 時間	使用 機械 器具	組み 作業 人員	作業	延べ 作業 時間	使用資材	技術の重要事項
収穫出荷	収穫 選別 箱詰め 出荷	4/上 ~ 4/下	トラック 運搬車 重量選 別機	2	88	176	収穫用かご コンテナ 出荷用箱	・早採りに注意し、適熟に達したものから粒採りで収穫する。その後房採りとする。 ・果実が傷まないよう、毛じが落ちないよう、 取り扱いには細心の注意を払う。
	芽かき誘引	5/中 ~ 7/下 9/上 ~ 9/中		1	35	35		・芽かきは、がんしゅ病予防のため新梢の 長さが10cmの時にハサミで除去する。 ・基本的に中心枝、果こん枝のみとし、副梢 は除去する。 ・こまめに新梢誘引を行い、花芽分化を促 す。
	新梢誘 引	6~ 7月						
	外フィルム被覆	11/上		6	8	48	外フィルム (0.1mm): 7.0×45m 4本 サイト・フィルム	・開花直前の時期(10月下旬~11月上旬) からハウス天井部のみを被覆して降雨を回 避し、腐敗果の発生を軽減する。 ・開花期に天井部を被覆した場合に、ハウ
	内カーテン 被覆	11/中		2	8	16	(0.1mm): 2.7×42m 4本 内カーテン (0.075mm):	ス側面を開放しても高温により結果率の低下が懸念される園地では、谷、妻面の開放など降温対策を併せて実施する。 ・天井ビニールは7月まで被覆し、園内土壌の
フィルム 等被覆 管理	内カーテン除去	4/上		2	3	6	7.0×42m 8本 3年使用 保温資材 2×108m	
	外フィルム 巻上げ	7/中		2	5	10	寒冷紗 1.8×108m 5年間使用	
	寒冷紗 被覆•除 去	8/上 9/中		2	5	10		
温度管理	保温 加温 換気	11/中 ~ 4/下	暖 換 谷 が 換 景 気 り り り り も で しゅう いっぱい かいしゅう かいしゅう いっぱい かいしゅう かいしゅう かいしゅう はいいい かいしゅう はいいい かいいい かいいい はいいい かいいい はいいい はいいい はいい	1	42	42	A重油3.2kl	・目標出荷時期に合わせた温度管理を行う。

	116.1.1			** .!!. *				(100 1/2)) (100 1/2)
	栽培	技術		作業位	本糸			
作業の 種類	技術 内容	作業 時間	使用 機械 器具	組み 作業 人員	作業	延べ 作業 時間	使用資材	技術の重要事項
水管理	かん水	被覆期間中	かん水施設	1	18	18		被覆前後:十分に潅水する 被覆~1/中(開花~結実期) :5~7日間隔で5t程度 1/下~3/中(果実肥大期) :5~7日間隔で10~15t 3/下~4/下(成熟期~収穫期) :3~5日間隔で5~7t 収穫後 :十分に潅水する 5~7月(花芽分化促進) :10日間隔で10~20t ・特に生育期間中を通じての過湿、過乾燥 に注意する。
その他	作業道 排水溝 防風対 風対策 他	1~ 12月		1	16	16		・圃場排水に努める。
計						615		

3-3. 技術体系(簡易ハウス「なつたより」)

:表中の作業項目以外は、露地びわ「なつたより」に準ずる。(531~532ページ参照)

								(10a当たり人、時間)
	栽培	技術		作業体	本系			
作業の 種類	技術 内容	作業 時間	使用 機械 器具	組み 作業 人員	実 作業 時間	延べ 作業 時間	使用資材	技術の重要事項
摘果袋かけ	摘果袋かけ	2/下 ~ 3/上		1	100	100	果実袋 10,000枚	・1房当り3果に摘果し、3L以上の大玉生産を目指す。 ・渋み果が疑われる早花果や細長い果実などの奇形果は、必ず摘果して除去する。 ・袋かけ前に必ず炭そ病、灰斑病対策の薬剤散布を行う。
収穫出荷	収穫 選別 箱詰め 出荷	4/下 ~ 5/中	トラック 運搬車 重量選 別機	2	41	82	収穫用かご コンテナ ※出荷調整は 共同選果	・「茂木」より果皮が黄色っぽく酸切れが早いので、色合いを見ながら試食して収穫適期を判断する。適期を過ぎると、そばかすや裂果を生じやすい。 ・果肉がやわらかく傷みやすいので、収穫、運搬、選別時に衝撃を与えず、積み重ねないよう取り扱いに注意する。
	外フィルム被覆	11/上		6	8	48	サイト フィルム (0.1 mm): 2.7 × 42m 4本	・開花直前の時期(10月下旬~11月上旬)からハウス天井部のみを被覆して降雨を回避し、腐敗果の発生を軽減する。 ・開花期に天井部を被覆した場合に、ハウス側面を開放しても高温により結果率の低下が懸念される園地では、降温対策を併せ
フィルム 等被覆 管理	外フィルム 巻上げ	3/上		2	5	10	3年使用 寒冷紗 1.8×42m 8本 5年間使用	て実施する。 ・寒害の恐れがなくなる3月上旬に天井ビニールを除去し、露地状態に戻す。
	寒冷紗 被覆•除	8/上 9/中		2	5	10		
温度管理	保温 換気	11/中 ~ 2/下	谷、サイ ト [*] 換気 装置	1	14	14		・夜間は0℃以上の温度管理を行う。特に、 降雪時は必ず暖房して融雪を促す。 ・晴天日は谷やサイドを開けて20℃以上に ならないようにする。
計						400		

								(TUa当たり人、時间)
11- 2116 C	栽培	技術		作業位	本系			
作業の 種類	技術 内容	作業 時間	使用 機械 器具	組み 作業 人員	実 作業 時間	延べ 作業 時間	使用資材	技術の重要事項
間伐せん定	間伐 整枝 せん定 枝誘引	6/中 ~下 9/中	トラック	1	20	20		・密植園では収穫直後に間伐する。 ・二段盃状形に改造する場合は、20年生以下で樹勢の良い樹を3~4年かけて行う。 ・9月の芽かきは、必要に応じて行う。
土壌改良	堆肥、 土壌改 良が用	7/中	小型運 搬車 トラック	2	5.5	11	堆肥 2t 苦土入りカキ ガラ石灰 100kg	・石灰質資材は土壌pH5.5~6.5を目標に施用する。 ・石灰質資材と肥料の施用間隔は2週間以上あける。 ・2~3年に1回を目標に樹間を部分的に軽く中耕する。
草生管	草刈り	4月 6月 9月	刈払機	1	6	6	わら 1ロール	・除草剤の使用は夏草雑草発生期にとどめ、雑草草生による地力向上に努める。 ・使用薬剤、使用方法は県雑草防除基準
理	除草剤 散布	7月	動噴	2	2	4	除草剤	による。
施肥	基肥 寒肥 礼肥	8/中 10/下 6/上	小型運搬車	1	6	6	配合肥料 (N:10%)220kg	 ・施肥量は、土壌の種類、樹勢、収量等によって調整する。 ・施肥後、乾燥している場合はかん水する。 ・年間の窒素施肥割合基肥 50% 寒肥 20% 礼肥 30%
防除	薬剤散布	1~12 月	動噴	2	12	24	1回の散布量 300~500L	・病害虫発生予察情報に注意し、適期防除に努める。・特に、開花期~落弁期の防除を徹底し、果実腐敗対策に取り組む。・農薬の安全使用基準を徹底する。
	摘房	10/上						・「なつたより」は着房率70%とする。 ・摘房は、寒害のない地帯は秋主体に、寒 害のおそれがある地帯では春主体に行う。 ・開花が早く寒害が心配な場合は、花房を 多めに残す。 ・出らいの早い花房は寒害対策のため花房
摘らい	摘らい	10/下		1	20	20		進度2~3の頃に上部1/2摘らいを実施する。 ・その他花房は、花房の下5段程度を除去し、中央部~上部に着果させた方が袋かけしやすい。

	栽培	技術		作業体	本系			(100日にり八、時間)
作業の 種類	技術内容	作業時間	使用 機械 器具	組み 作業	実作業時間	延べ 作業 時間	使用資材	技術の重要事項
摘果袋かけ	摘果袋かけ	3/上 ~ 3/中		1	100	100	果実袋 10,000枚	・寒波の襲来がなくなり、凍死果の判断がつくようになったら摘果して袋をかける。 ・1 房当り3 果に摘果し、3 L以上の大玉生産を目指す。 ・袋かけ前に必ず炭そ病、灰斑病対策の薬剤散布を行う。
収穫出荷	収穫 選別 箱詰め 出荷	5/上 ~ 5/下	トラック 運搬車 重量選別機	2	41	82	収穫用かご コンテナ ※出荷調整は 共同選果	・「茂木」より果皮が黄色っぽく酸切れが早いので、色合いを見ながら試食して収穫適期を判断する。適期を過ぎると、そばかすや裂果を生じやすい。 ・果肉がやわらかく傷みやすいので、収穫、運搬、選別時に衝撃を与えず、積み重ねないよう取り扱いに注意する。
新梢管理	芽かき誘引	6/中 ~下 7/中 ~ 8/上 9/中 ~下		1	35	35		・誘引した後に充実した果こん枝を2本残して芽かきをする。 ・基本的に中心枝、果こん枝のみとし、副梢は除去する。 ・がんしゆ病予防のため新梢の長さが10cmの時にハサミで除去する。
その他	作業道 排水 防風 風対 他	1~ 12月		1	10	10		
計						318		

	栽培	 技術		作業体	 太系			(10a当たり人、時間)
作業の 種類	技術内容	作業時間	使用 機械 器具	組み 作業 人員	実 作業 時間	延べ 作業 時間	使用資材	技術の重要事項
間伐せん定	間伐 整枝 せん定 枝誘引	6/中 ~下 9/中	トラック	1	20	20		・密植園では収穫直後に間伐する。 ・二段盃状形に改造する場合は、20年生以下で樹勢の良い樹を3~4年かけて行う。 ・9月の芽かきは、必要に応じて行う。
土壌改良	堆肥、 土壌改 良施用	7/中	小型運 搬車 トラック	2	5.5	11	堆肥 2t 苦土入りカキ ガラ石灰 100kg	・石灰質資材は土壌pH5.5~6.5を目標に施用する。 ・石灰質資材と肥料の施用間隔は2週間以上あける。 ・2~3年に1回を目標に樹間を部分的に軽く中耕する。
草生管	草刈り	4月 6月 9月	刈払機	1	6	6	わら 1ロール	・除草剤の使用は夏草雑草発生期にとどめ、雑草草生による地力向上に努める。 ・使用薬剤、使用方法は県雑草防除基準
理	除草剤 散布	7月	動噴	2	2	4	除草剤	による。
施肥	基肥 寒肥 礼肥	8/中 10/下 6/上	小型運搬車	1	6	6	配合肥料 (N:10%)220kg	 ・施肥量は、土壌の種類、樹勢、収量等によって調整する。 ・施肥後、乾燥している場合はかん水する。 ・年間の窒素施肥割合基肥 50% 寒肥 20% 礼肥 30%
防除	薬剤散布	1~12 月	動噴	2	12	24	1回の散布量 300〜500L	・病害虫発生予察情報に注意し、適期防除に努める。・特に、開花期~落弁期の防除を徹底し、果実腐敗対策に取り組む。・農薬の安全使用基準を徹底する。
	摘房	10/中						・「茂木」は着房率70%とするが、樹勢に応じて調整する。 ・摘房は、寒害のない地帯は秋主体に、寒 害のおそれがある地帯では春主体に行う。
摘房摘らい	摘らい	11/上		1	20	20		きのあそれがある地帯では春主体に行う。 ・摘らいは、花房の下3段くらいと上部を摘除し、中4段を残す。

								(10年日/こう人、町川町)
	栽培	技術		作業位	本系			
作業の 種類	技術 内容	作業 時間	使用 機械 器具		実 作業 時間	延べ 作業 時間	使用資材	技術の重要事項
摘果袋かけ	摘果袋かけ	3/中 ~ 3/下		1	100	100	果実袋 10,000枚	・寒波の襲来がなくなり、凍死果の判断がつ くようになったら摘果して袋をかける。 ・一房当りの果数の目安 3果/房 ・袋かけ前に必ず炭そ病、灰斑病対策の薬 剤散布を行う。
収穫出荷	収穫 選別 箱詰め 出荷	5/中 ~ 6/上	トラック 運搬車 重量別機	2	58.5	117	収穫用かご コンテナ	・熟期を見て、適期に収穫する。 ・果実が傷まないよう、毛じが落ちないよう、取り扱いは細心の注意を払う。 ・箱には必ず満杯詰めとする。
新梢管理	芽かき誘引	6/中 ~下 7/中 ~下		1	27	27		・芽かきは、がんしゅ病予防のため新梢の 長さが10cmの時にハサミで除去する。 ・基本的に中心枝、果こん枝のみとし、副梢 は除去する。 ・こまめに新梢誘引を行い、花芽分化を促 す。
その他	作業道 排水溝 防風垣 風対策 他	1~ 12月		1	10	10		
計						345		

- 3-6. 技術体系(早生温州): かんきつ専業 I に準ずる。(476~477ページ参照) ※ただし防除および収穫出荷の項は、かんきつ専業 II を参照
- 3-7. 技術体系(不知火): かんきつ専業 I に準ずる。(482~483ページ参照) ※ただし防除および収穫出荷の項は、かんきつ専業 II を参照

4. 品目の作付体系

4. 品日の作列体系												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ハウスびわ (一般出荷型)	↑	↑ 袋かけ	=+	■◆	(·	↑ 芽かき	U	↑ 施肥		※ 摘房摘蕾 追肥	∩ ※	⇒
ハウスびわ 「はるたより」	↑	↑ 袋かけ		=+=		↑ 芽かき	U	↑ 施肥		※ 摘房摘蕾 追肥	∩ ※	⇒
簡易ハウスびわ 「なつたより」 (無加温)		↑ ↑ 摘果	U 袋かけ	•	◆■◆ ↑ せん定・	施肥	↑ 土壌改良 芽かき	施肥	⊚ ↑	※ 摘房摘蕾 施肥	∩ ※	
びわ「なつたより」 (露地)		1	↑ 摘果 袋かけ		=+=+	↑ せん定·施肥	↑ 土壌改良 芽かき	施肥	◎ ↑	※ 摘房摘蕾 施肥	*	
びわ (露地)		Î	↑ 摘果 袋かけ		=+	■ ◆ ↑ せん定・施肥	↑ 土壌改良 芽かき	표하 비싸	⊚ ↑	※ 摘房 施肥	摘蕾	*
早生温州(マルチ)	土壌改良	せん定	春肥	↑ 草刈	※ ↓ 夏肥	ļ	マル チ 指	- 被覆 新果	☆		■◆■◆ 秋肥	
不知火 (露地)	•	◆■ 土壌改良	◆ せん定 春肥	↑ 草刈	* ↓	↓			枝つり	☆		

注) 生育ステージ記号 ↑:発芽 ◎:出蕾 ※:開花 ↓:生理落果 ☆:着色始め ■:収穫 ◆:出荷

∩ U:ビニール被覆・除去 ⇒:加温開始

įα	30	1	10	9	31	30	120	176	35	90	42	1 0	1,0	2		615		4	a	30	= [10	9	31	30	120	176	35	90	42	18	16	0	615	1	ψa	20	11	10	9	24	20	100	82	35	68	14	10	0	400
											6	1 -	1		3															2	-		3														-		,	Ŧ
12			-					-	 	ļ	6	1 -	<u>-</u> †~	ή	3	=			71	~	*	7	_		~	7	-	~		2	-	~	3	-	:	12			***				~~	~~	•••		~~^ 		Ψ,	-
6			ļ	-	2		-		h~	_	6	1 -	<u>-</u>	+-	ı,				-	7	_	_	7	2		*	~	~	~~	2	-	~	22	,			~~	~	~~	~	2	3		~~		~~	~			n
											2	4			2	1														2			2														-		ľ	1
Ξ					2		-		-	16		ĭ		+	20	83		:	= -	+	~	7		2		~	~		16	2		_	20	83	3	Ξ	~~	~~		~~	2	~~			~~		=		~~~	e i
					3	10			ļ	48		-			9				-	•-•	- 1-	- -		3	10				48			••••	9						•••		2					48				90
					2	10									12	!		-	Ì					2	10								12							2	3	10							,	12
10				2											2	26		9	2			1	2				+			• • • •			2	26	2	10		•••			•••							#-		0
•					2	10						1			12					1				2	10		†						12	•								10						="	;	=
													0	7	2																1	2	2												4					4
6									3	4	1	-	0	7	6	18		•			1	1						3	4			2	6	18	2	6	2		•••						4	4		-	,	14:
,	•		2		2				3	ľ	_		1	*	7					~	7	2		2			~	3		~~		_	7					~	2		2	}		~~~		~~~			7	4
				2											2								2										2															=	,	Ī
80					3		! ·			†	••••		٥	7	2	13		c		- -	1	1		3		•••	+	•••				2	2	13	2	8		•••	••••	2	•••	•••			• • •	•••				7
			<u> </u>	•••			···		•	9	,	-		*	9	1			ľ		*	1				~	~†		9	***			9	,				~~		~~	•••		•••	•••	~~	9	~~	=	~	,
Ì									2						2			-	Ì									2					2						2		2				8			-	,	2
,			<u> </u>	 	2			<u> </u>	3	10	-	1	•	7	17	41		r	,	1	-	7	~	2				3	10		-	2	17	41		7	~~	11 }	~~	~~	2	*	~~	~~	6	~~~				7.7
		1	4		2				9	+ • •		1	٥	7	22				•		=	4		2			+	3				2	22	i					2								-	-		5
					2				3				٥	7	7			-						2				3			1	2	7	1			5								2				,	0
٥	•								4	<u> </u>	 	+	c	7	9	22		•	0	_	*	7				~	~	4	~~	~~		2	9	22	:	9	10	~~	2	~~	2	~~	~	~~	5		h			8
ŀ					3				4			-	٥	7	6				-		- 1-			က				4				2	6	;						2	3						 			c
									2						C)			-									99	5					7.1																٥	0
0	20								2	-		-	-		26	45		ı	0	20							09	2			-		86	221		2								25			-			72
	10				2							0	7		14					10				2			20				2		64											20			-			20
				2				26			3	-	1		62	:							2							3	-		9	,										7				1	ı	`
4					2			20	†		8	-	<u>-</u> †·	1	56	170		,	,		-	1		2	••••	1	•••		••••	3	-		9	24	;	4			•••	••••	2	••••	•••			•••				7
ľ		···	2	۰	۳.		۰۰۰	40	<u> </u>	9	3	, -	<u>-</u>	*	52					~	٠,	2	*	**		**	-	~~	9	3	-	_	12				**		2			3		~~					-	7
Ì								30			3	-	-		34			-	Ì											3	-		4	•															•	О
			2							+ • •	8	-			9	44		•	۰			2					+			3	-		9	14		3											-			o
	~~								-		3	· -	-	+	4				ľ		~	~				~-+	~		~~~	3	-		4				~~	~~	~~			~~	20		~~~	10				909
Ì											8	-	-		4			-	Ì											3	-		4	•							2		20				Ξ		i	53
7			<u> </u>						+	 	3	-			4	31		•	7	~		_	*			~				3	-	_	4	3.1	5	2	~~		~~			~~	~~	~~~			-		Ψ,	<u>-</u>
							20				2	1 -			23							1				20	+			2			23				• • • •										2			7
							30				2	1 -	-		33	:		-			Ì	Ì				30				2	-		33	3													2	2	ľ	4
-							40		 	+. .	2	1 -			43	Ξ			- -							40	+			2			43	=		-					•						2	2		4
•					2		30		+		2				35		:	[6]	-		- 1-			2		30				2	-		35	3	.u.				• • •										·	-
· 间									İ			t	\dagger	\dagger	l	l		IX6724	1	1	†	†				1	1			1		1			なったよ	1-旬											_	1	l	†
品目·作業/月·旬	トん定	頂	証:			摘房、摘らい	きかけ	情	誘引	茶米	1 開	Ħ.			ole	月計		2) ハワスひわ「はるたより」	TF * / /	: - -	NA I	型			摘房、摘らい	きかけ	荷	誘引	除去	· 通	m.,		die	±	引いウス「	品目·作業/月·旬	ん定	.良	2種			摘房、摘らい	きかけ	掎	-誘引	除去	種	F.	4	ta 0
때 때	間伐セ	土壤改良	草生管理	施肥	防除	摘房、	摘果袋かけ	収穫出荷	芽かき誘引	推獵	河南部	手が苗子	サーチョウ	日 く の に				2) //	I	間伐也	土壌改良	单生管:	層距	防除	摘房、	摘果袋かけ	収穫出荷	芽かき誘引	被覆、除去	温度管	水管理	その焦			3)簡多	==	間伐せ	土壌改	草生管理	施肥	防除	摘房、	摘果袋	収穫出	芽かき誘引	被覆、除去	温度管	その他		

5 6 7 8 9 10 11 10 10 11 2 3 3 3 4
7 8 9 10 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
8 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11
9 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
1

1	1 2 2 3 3 4 5 6 7 8 7 8 9 10 10 10 10 10 10 10	1 2 2 3 3 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5	1 2 2 3 3 4 5 6 7 8 7 8 9 10 10 10 10 10 10 10	品目・作業/月・旬	間伐せん定	1 2 1 2 1	工機収及	草生管理	施問	克 聚	摘果	枝つり	収穫出荷	貯蔵	新梢管理	そのも		杣	月計	日知智法の 9		総労働時間 106	11年年年十二
1	1 2 8 3 3 4 5 6 7 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9	1	1	-	 	ļ.		 		 	 	 		-	 			12.5	49		-	195	1483 1483
2 3 4 5 6 7 8 9 9 3 3 3 3 2 6 6 4 6 4 6 6 4 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 0 9 9 8 9	2 3 3 4 5 6 7 8 9 10 3 3 3 2 2 6 6 2 2 2 6 6 6 4 4 4 4 4 6 6 4 2 2 4 7 8 9 1	The contract of the contract	2 3 3 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 3 3 3 2 2 2 2 4 4 4 4 4 6 6 6 4 6 6 6 4 6							2				2 1								-	150
3 3 4 5 6 7 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9	3 3 4 5 6 7 8 9 10 3 3 2 2 4 6 4 6 4 6 4 6 4 6 4 6 4 6 4 6 4 6 4 6 4 6 4 6 4 7 6 4 7 6 4 7 6 4 7 6 4 7 6 4 7 6 4 7 7 8 7	10 10 10 10 10 10 10 10	3 3 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1	2	2	ſ	3		<u> </u>	<u> </u>				1			<u> </u>		44.5		2	79	0.0
3 4 5 6 7 8 9 9 2 2 4 4 4 4 5 6 7 8 9 9 2 2 4 4 4 4 6 5 6 4 7 8 7 8 9 9 9 9 8 9	3 4 5 6 7 8 9 10 2 2 2 2 2 2 2 2 10 <td< td=""><td> 3</td><td> 3</td><td></td><th>8</th><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>9</td><td>-</td><td></td><td></td><td></td><td>18</td><td></td><td></td><td>ľ</td><td>167</td><td>000</td></td<>	3	3		8								9	-				18			ľ	167	000
3 4 6 6 2 1 12 3 5 0 4 12 15 5 6 0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	3	3	3		3	c	S	<u></u>	3	 -	 -	<u> </u>	4.5	<u> </u>	·	 -		13.5				300	
4 5 6 7 8 9 9 2 2 2 2 2 2 4 4 4 4 4 4 5 6 6 6 4 2 2 2 2 4 2 2 4 2 2 4 2 2 2 4 2 2 4 2 2 4 2 2 2 4 2 2 2 4 2 2 2 4 2 2 2 4 2 2 2 4 2 2 2 4 2 2 2 4 2 2 2 2 2 2 2 2 4 2	A S G T T T T T T T T T	The contract of the contract	A S S S S S S S S S	3	2	1				ļ		ļ		١		2			19.5		3	364	,
4 5 6 7 8 9 9 2 2 2 2 2 4 2 2 4 2 2 4 2 2 4 2 2 4 2 2 4 2 2 4 2 2 4 2 2 4 2 2 4 2 2 4 2 2 4 2 2 4 2 2 4 2 2 4 2 2 2 4 2 2 4 2 2 4 2 2 4 2 2 4 2 2 2 4 2 2 4 2 2 2 4 2 2 2 4 2 2 2 4 2 2 2 4 2 2 2 4 2 2 2 4 2 2 2 4	4 5 6 7 8 9 10 2 2 2 2 2 2 10	4	4 5 6 6 7 8 9 10 11 12 12 12 12 12 13 13			l										2		2			F	254	
5 6 7 8 9 9 9 9 9 9 9 9 9	5 6 7 8 8 9 10 10 10 10 10 10 10	S	5 6 7 8 9 10 10 11 12 12 13 13 13 13 13	4	 			2	 	2			 						11		4		
5 6 7 8 9 2 2 2 2 2 2 4 4 4 4 2 4 1 10 10 5 4 2 2 4 1 1 5 4 5 5 5 4 2 2 2 2 4 5 5 5 6 4 2 2 2 1 1 1 1 4 2	5 6 7 8 9 10 10 10 10 10 10 10	5 6 7 8 9 10 10 10 10 10 10 10	5 6 7 8 9 10 10 11 12 12 12 13 10 12 13 10 12 13 10 10 13 10 10 10 10		ļ	ļ.		ļ	ļ	ļ 	ļ	ļ	ļ	ļ		2 1	ļ						
5 6 7 8 9 4 1 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 5 5 5 5 4 2 2 2 4 2 2 2 4 2 2 4 2 2 2 4 2 2 4 2 2 2 4 2 2 2 4 2 2 2 4 2 2 2 4 2 2 2 4 2 2 2 4 2 2 2 4 2 2 2 2 4 2	5 6 7 8 9 10 4 10 10 2 2 2 4 10	5	5 6 6 7 7 8 9 9 10 11 10 11 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12							2						2							ı
C C C C C C C C C C	10 10 10 10 10 10 10 10	Color Colo	1	2		1.				 	l	 			 	 			6		2		
10 10 10 10 10 10 10 10	10 10 10 10 10 10 10 10	10 10 10 10 10 10 10 10	10 11 12 12 13 13 113			t				4								4			F	292	-
5 4 4 6 5 5 6 7 10 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	5 4 6 5 5 7 10 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	5 4 4 5 5 5 4 7 10 4 2 2 0 10 100 100 100 100 100 100 100 10	2 2 2 4 10 11 12 5 4 4 2 2 4 2 2 2 5 6 6 5 5 6 4 2 2 2 6 0 9 5 7 10 4 2 2 2 7 8 1 10 4 2 <td></td> <th>ļ</th> <td> -</td> <td></td> <td>2</td> <td>ļ</td> <td>ļ</td> <td>10</td> <td></td> <td>ļ</td> <td></td> <td>ļ</td> <td>ļ</td> <td>ļ</td> <td>12</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>347</td> <td>L</td>		ļ	-		2	ļ	ļ	10		ļ		ļ	ļ	ļ	12				347	L
7 8 8 9 2 2 2 2 2 4 4 5 5 5 6 4 4 2 2 2 4 6 5 6 7 4 7 2 2 8 7 10 4 2 2 15 7 10 4 2 2 15 7 10 4 2 2 16 7 1 10 10 9 79 113 119 117 60	10 10 10 10 10 10 10 10	7 8 9 10 2 2 2 2 4 4 4 5 5 5 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1	9	L	ł	-	L		4	10	L			-		L	15	32		9	196	L
7 8 8 9 2 2 2 4 4 4 5 5 5 4 4 2 2 2 4 15 0 9 9 5 7 10 4 2 7 8 7 10 9 9 7 10 0 109 79 113 119 117 60	7 8 9 10 2 2 2 4 4 6 5 5 4 2 2 2 2 4 2 2 2 2 5 7 10 4 2 2 15 7 10 4 2 2 2 7 8 7 10 16 0 12 10	7 8 9 10 4 6 5 6 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	7 8 8 9 10 11 1 12 12 12 1			1					2							2			F	192	_
8 9 6 7 10 110 111 10 00	100 100	5 5 5 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	10 11 12 12 13 113	7	ļ	<u>.</u>		2	ļ	4	ļ	ļ	ļ	ļ	ļ	ļ		9	15		7		ı
8 9 2 2 2 4 5 5 5 4 2 2 2 2 3 4 6 5 5 4 2 2 2 3 4 4 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 4 5 5 5 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	S S S S S S S S S S		ļ	1	,	 	ļ	ļ	 	 				ļ	_		2			Ĺ	L
8 9 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	8 9 10 2 4 2 2 2 5 5 4 2 2 2 2 1 4 2 2 2 2 1 10 4 2 2 2 8 113 119 117 60 12 7	8 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	8 10 11 11 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12					,7		4						,7							
5 4 4 2 2 2 2 4 4 5 10 10 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	2 4 5 4 6 2 2 2 2 7 10 4 2 2 2 7 10 9 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	2 4 4 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	2 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	œ		1										٠			21		80		
16 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	10 2 2 2 2 2 2 2 3 4 4 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	2 2 2 2 2 2 2 4 4 2 2 2 0 0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	11							2	2							7			F	113	
2 00	01	10 2 2 2 2 0 0 0 121 10 36	11 10 11 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12		<u></u>	1	,	2	 .	4	4	l		L		L	ļ	10				119	
	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	10 2 2 2 0 121 10	10 11 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12	6	ļ	-		ļ	ļ	ļ	ļ	2	ļ	ļ	ļ	2	ļ	4	16		6	117	1
	9	2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	10 11 12 12 12 13 10 14 11 15 15 15 15 16 16 17 18 18 18 18 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19									2						2			F		L
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			2 2 2 2 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1	Ξ		Ī.							···						2		=	267	L
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	100 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	2 11 2								2												93	
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	11 2 2 0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				ľ		~~		~~		~~						0				30	,
11 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	11 0 0 2 2 0 2 11 11 401 267 93 3	2 0 2 2 11 11 12 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		12		ļ												0	2		12	10	